

平成27年8月9日（日）開催  
消防庁舎 5階講堂

## 公共施設再生について、みんなで話し合おう！～公共施設再生計画説明会～

### Aグループ

#### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 学校施設を本当に「地域の拠点施設」として機能させるための方策を明確にする必要がある。
- 津田沼小学校は菊田公民館の機能を複合化をすることはできない。
- 憲章の5章には「市長のつとめ」として「都市施設の整備にあたり（中略）教育文化の向上を根幹とするよう配慮しなければならない。」となっているが、施設の統廃合はこの条文と整合しているか。明確にすべき
- 施設の統廃合はある程度仕方がないが、「財政状況」と「人口動態」の観点だけでなく、「まちづくり」の観点も考慮する必要がある。
- 「まちづくり」は市長の政治姿勢そのものであり、市長自身の「まちづくりの方針」を表明し、施設の統廃合との関係と明確にすべきである。
- 現計画は「まちづくり」の観点が欠落している。
- 計画には、施設の統廃合による「文化芸術地域コミュニティ」などへの影響とまちづくりの基本理念である「文教住宅都市憲章」との整合性についての説明が全くない。
- 圧縮=廃止 現に近くの公民館（菊田）なくなることで、不便を感じている。→小学校に移る。
- 小中学校は近隣と統廃合して空いたところを子供・老人施設に使用
- 学校区見直し、硬直化していないか。
- 習志野市は県内他市と比べても公共施設多すぎる。整理・統合は積極的に進めるべし
- 市職員・議員も多すぎる。
- 施設圧縮 小学校・合併 遠くなる。通学 不便 危険

#### 観点2：老朽化対策の具体案について

- 専門家による施設ごとの寿命診断の実施
- 危険な建物は取り壊して高層を建て、有効活用
- 若い世代の意見をもっと聞く
- 危険な部分を修理して空き利用

- 若い人 学生 P T A 子供会のメンバーを入れて考える

### 観点3：財源確保策について

- 市職員は適切な給料か？
- 市会議員を減らす
- 市議員の減給・減員
- 利用者から適切な使用料をとるべし（市民・高齢者は無料はおかしい）
- 建設費の高騰している現在でなく建設時期を4～5年延期する（オリンピック後）
- 財源確保は「土地売却」のみに求めるのではなく「行財政改革」による「財政効果」の活用を第一義として考え、不足分を土地売却に求めるべきである
- P F Iの目的は「①サービスの向上」と「②財政効果」であり、この目的が達成されると予測される場合に採用する手段である。予測されない現時点では財政負担軽減の一手段として検討課題とすべき。
- 建物は行政。運営市民。
- 施設統廃合による経費削減による財政効果を再生事業の財源とする
- 「緑化活用」に代表される土地の優遇税制を見直せば資産家からの税収はふえるのでは
- 地のり（東京から近い）を生かす何かを考える
- P F Iは財政負担軽減のための一手段であるにもかかわらずP F Iが「不可欠」であるとしている大久保地区基本構想は再検討を要す
- 「行財政改革」は歳入の増加（人口増による市税・徴収率等）と歳出（特に人件費・物件費）の削減の実施が重要である
- 公共施設に行政のみに頼むのではなく民間活力の活用。公民館にコンビニが併設されてもいいのでは。
- 施設統廃合による経費削減額の推計を市民に公表する

## **Bグループ**

### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 小中学校の複合化に地域のコミュニティを加えた考えの物作り
- 保有総数の圧縮はわかるが、市民全体にもっとP Rが行き届いていれば統合しなくても良いのでは？
- 公民館での活動内容 小中学校を活動場所とするのは如何なものか
- 施設の機能の複合化 ex 小・中学校とコミュニティセンター

- 広域（自治体：船橋市、千葉市、八千代市）連携の仕組みづくり
- 図書館等圧縮しても、内容の充実した物。
- 道路の整備＋交通（足）の確保（バス、移動図書館）
- 統廃合 現利用者の影響？（施設の他 利用日、交通）
- 近隣の市（自治体）の公共施設の利用により、市の境界に住む人もサービスが受けられるような自治体間の連携

#### 観点 2：老朽化対策の具体案について

- 建物の建設をする場合→デザイン性を重視するのではなく長期にわたって維持管理ができるような維持管理計画を策定する
- 事後保全の考えではなく予防保全を実践していく
- 建物（既存施設）→優先順位を決めて実施
- 公園整備（日常）
- 老朽化対策 必要最小限の改修策を検討したか。

#### 観点 3：財源確保策について

- 例えば統合したからと言ってその財源は明確にしてほしい。
- 議員定数削減
- 公共施設内に民間のスペースをつくりテナント料の収入を得るようにする
- 民間の活力をつかう P F I の導入
- 民間の力を利用し仕組の充実と活力
- 運営を民営（民間）に譲渡 公設民営ではなく民設民営へ

### **Cグループ**

#### 観点 1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 民間施設の活用（大型スーパーマーケット等）
- 身の丈に合わせるのは当然
- 高齢化で健康維持の為公民館は必要
- 現在の公民館のサークルをソフトウェアと考え、ソフトを活かす方法を検討してほしい。

## 観点2：老朽化対策の具体案について

- 老朽化で建替は一つ大きな建物（公民館）を作り、遠い人の為バスの送り迎えをしてもらいたい
- 市立図書館の一本化
- 1980年ころアメリカの財政難のころは、放置していたと思う。
- 町内会の役目が戦争が終わって変化している。公民館を市で運営しなくてもよいと思う。
- シルバー人材センター活用

## 観点3：財源確保策について

- 市会議員のカット
- 公民館の公用車廃止（1台）
- 市営住宅の廃止 敷地売却
- 市会議員のカット30人→20人で十分（1人当たり2,000万円）
- 市債の増額（金利アップ）
- 次世代に負担を全くかけないという理論は正しいか？
- 人口が減少するなか、公共の財産は売却し、活用できる民間にまかせる。
- 公民館の利用チケット機（借りる）は職員で出来る

## Dグループ

## 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 海外旅行をした折に外国でレオナルドダビンチが設計した市庁舎というのを見た。まだ使われている。なぜ50年なのか。
- 耐用年数を延長（習志野市では50年から60年に運用）  
コンクリートも質等改良しているので80年運用
- 古い施設の文化財化 観光都市を目指す
- 今は在宅勤務などという言葉がある。市民が集まらなければできない事と施設の関係を整理して予算を縮小してはいかがか。
- 壊れるもの、使用できないものは建てない。日本人の美徳、修理・改修。
- 公民館の目的は？
- 交通機関もよく発達しているので、施設の県内共有化等相互利用を促進してはいかがか。

- JR・京成電鉄との共有化
- 総保有量を分類して必要不可欠な施設など重要度による分類を見えるようにしてほしい。
- 習高（習志野高校）→県立へ
- 民設民営 公設民営
- 各施設の民営化はどこまで考えているのか
- 民間委託へ ※給食センター、公民館・・・
- 広域化 ゴミ、水道（上下）
- 全市利用施設の配置は絵で見るときれいだが、このように配置する理由が少しピンとこない。

#### 観点2：老朽化対策の具体案について

- 今後の人口予測を十分考慮する 過密地（マンション新築等） 過疎地
- 予算決算報告のオープン化（民間方式で）
- 補修可能のものと取壊すものとの区別 建替の必要性
- 取壊しする施設の利用者は近隣の施設で受け入れる

#### 観点3：財源確保策について

- 国、地方の財政だけにたよるのではなく大企業との共有は考えられないのか？習志野にはないのか？
- 企業・大学の呼び込み
- 学校→私立又は通信制へ
- 建設費の縮減 コンサルタント料等事前対策
- 遊休市保有地の売却・貸付け
- ネーミングライツの実施  
（例）新習志野のプールはもう済んだ？他市ではかなり多くの施設について実施済
- 市政だより、市の封筒に民間会社の公告を載せる（適正な範囲で）
- 人件費縮小 人員削減（議員等）